

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[5] グリオキサール [6] グルタルアルデヒド	<p>【大気】</p> <p>大気 → 捕集 (pH3.0塩酸水溶液 20mL, 0.50L/分×24時間) → 希釈 (pH3.0塩酸水溶液 30mL)</p> <p>誘導体化 (0.6% O-(2,3,4,5,6-フルオロフェニル)エチルアミン塩酸塩-pH3.0塩酸水溶液 3mL, 緩やかに振とう後1時間静置) → 振とう抽出 (硫酸/精製水(50:50) 0.6mL, 緩やかに振とう後5分間静置, 塩化ナトリウム 7.5g、水 5mL, 振とう 10分間)</p> <p>分取 (4mL) → 脱水 (無水硫酸ナトリウム) → シンシ¹⁸O₂添加 フルオロフェニル-d₁₀ 25.0ng</p> <p>濃縮 (窒素ガス 0.5mLまで) → GC/MS-SIM-EI</p> <p>「平成25年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>備考</p> <p>分析原理：加熱脱着 GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【大気】 (ng/m³) [5] 0.4 [6] 0.89</p> <p>分析条件： 機器 GC：Agilent 6890 MS：JEOL JMS-K9 カラム J&W DB-1 60m×0.32mm、1.00μm</p>